女性の皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H27夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
①産後ケア	不妊治療も大切だが、産後ケア施設も必要だ。産後の妊婦や乳児へのサポートが不十分なケースが増えている。高齢出産で母乳育児が難しい人も多い。助産師として母乳育児相談室を35年間、運営しているが、市内に産後ケア施設を開設するための助産師によるチーム作りは可能だ。ぜひ相談してほしい。	フィンランドの切れ目ない家族支援「ネウボラ」にならい、今年から「滑川版ネウボラ」の実行に向けた研究を行っています。チーム作りのご提言を頂き、大変心強く、またご協力をお願いします。
②滑川駅の駐車場	滑川駅がJR北陸本線から「あいの風とやま鉄道」の駅に変わり、東京行きの際に無料で使えた駐車場が利用できなくなるなど不便になった。有料駐車場もすぐ満車になる。有料でも良いので拡充してほしい。	「あいの風とやま鉄道」にはJR時代同様に東京行きの際の無料駐車場を使えるよう要望していますが、同社は最小限の人員で駅を運営しており、手が及ばないとのこと。今後も要望を続けます。
③ひとり親世帯	マスコミ報道によると、全国的に母子家庭の多くが貧困に苦しんでいる。市内にはどのくらい困っている母子家庭があるのか。ケアは十分なのか。	本市では、中学3年生までの医療費無料化や、今年から父子家庭も対象となった児童扶養手当や、遺児年金を支給し、ひとり親世帯への経済的支援につなげています。クリスマスケーキや中学卒業時の記念品支給も行っています。今後は、ひとり親の就業援助も更に進めるなど支援を充実させます。市内のひとり親世帯は、母子家庭252世帯(児童161人)、父子家庭65世帯(児童38人)です。両親が無い児童が1人います。
④給食費	市内で給食費の未払いは問題化していないか。	世帯の所得が低く、給食費が援助される準要保護の児童・生徒は滑川でも増加傾向で、可能な限り支援しています。未払いのケースはゼロではありませんが、納付を呼び掛け、早期の対応に努めています。
⑤行田公園と児童館のトイレ	孫を行田公園に連れて行った際、公衆トイレが汚かったため、児童館のトイレを利用しようとしたが、こちらも汚かった。しっかり清掃してほしい。	ご指摘を受け、いずれのトイレもすぐに清掃し直しました。公園のトイレ掃除は、委託業者が行っていますが、シルバー人材の公園巡視員による見回りを強化し、美化に努めます。児童館のトイレも、新しい児童館が完成するまで、気持ちよく利用してもらえるよう、しっかり清掃します。
⑥コミュニティバス停留所	市コミュニティバス「のるmy car」の停留所で、縁石に座ってバスを待つお年寄りを見かける。待合用のイスを設置してはどうか。	滑川駅前、市民交流プラザ・エール前、中滑川駅前の停留所にはイスがありますが、その他では、スペースの都合上、設置していません。再度現場を確認し、設置できないか検討します。
⑦土曜授業	土曜授業は、せっかく土曜日を利用しているのに、通常の学習と関係ない授業をしていると聞いた。学習効果につながる通常の授業を行ってほしい。また、スポーツの大会などに参加する場合は欠席扱いになるのか。	土曜授業でも学習効果は何より大切で、7割が通常の授業です。残り3割は保護者や地域の方の協力によって土曜ならではの授業のほか、従来は平日に行っていた新川古代神の練習時間などに充てています。県教委に「授業の達人」として認定された教員も招いています。市外の国、県などのスポーツ大会は、大会要項を審査のうえ、欠席ではなく極力公欠扱いで対応しています。
⑧交流プラザ	市民交流プラザ1階で子ども達が勉強しているが、最近は飲食の様子も見かける。あそこはフリースペースであり、勉強する時は図書館の学習室を利用してほしい。	フリースペースなので飲食は禁止できません。市民交流プラザ2階が子ども図書館となり、従来2階で学習していた学生からは1階の机やイスを増やしてほしいと要望されます。本来1階は学習スペースではないため、なるべく図書館の利用を促しています。ただ、今ある机やイスを撤去することも望ましくないため現状を維持します。
⑨交流プラザ	交流プラザ2階が子ども図書館になった。1階では中高生だけでなく、小学生も学習スペースとして使っていて、大変すばらしい。しかし、大人の市民が交流に利用できるフリースペース確保にも努めてほしい。	あまり知られていませんが、図書館3、4階にフリースペースがあります。打合せ等に利用されていますので、ぜひご活用ください。

女性の皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H27夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑩交流プラザ	市民交流プラザ1階で高校生が勉強していることは素晴らしい。批判的に見る人もいるが、一日中占領している訳でも、悪さをしている訳でもなく、少子化時代の子どもたちを温かく見守りたい。マナー違反があれば注意すれば済む話であり、市役所は年配の市民の言い分だけを聞いて、子どもを排除するべきではない。むしろ、夏休み期間中の学習スペース・居場所の確保・充実を求める。	学習スペースとしての利用には懐疑的な声もありますが、1階の机とイスについては撤去せず、維持します。また、リニューアルする図書館の学習室の利用も促します。夏休み期間中の学習スペースは、子ども図書館のキッズルームを中学生に開放できないか検討中です。
⑪農村環境改善センター	会合のため農村環境改善センターを利用するが、管理人が夜9時になっただけで帰宅するように求めてくるため、気兼ねして8時半頃には切り上げねばならない。もう少し時間的に余裕をみてほしい。	中には融通の利く管理人もいますが、時間に厳しい人もいます。柔軟に対応してもらえよう、センター側にもお願いします。
⑫食育	市では食育を推進しているが、食育や食事のしつけは本来は家庭でやるという基本が忘れられていないだろうか。ある自治体では弁当を1ヵ月に1回持参させる食育施策を行っているので参考にしてほしい。	最近では、家庭の献立の栄養が偏っていたり、保護者自身が箸や茶碗の持ち方をしっかり教えられないケースなどもあるため、本市では給食を通じた食育に力を入れています。旬の食材や地場物を食べ、味わう機会を提供し、栄養バランスなどについても理解を深められるよう努めています。
⑬図書館の喫茶店	リニューアルに伴い、図書館に喫茶店が出来るそうだが、以前、市に喫茶店を作ってほしいとお願いした時は、水道管の都合上、難しいとか、自販機があるから喫茶店は不要といった後ろ向きな反応だった。今回は、どうしてオープンできることになったのか。	人との会話も読書同様に重要な情報源です。会話が弾む喫茶店を図書館に設けることで、生涯学習の場としての機能を充実させたいと思っています。ぜひご利用ください。
⑭生涯学習	若い頃に高い教育を受けられなかった人に、学び直しができるシステムを整えてほしい。	高齢者を対象にした生涯学習の場としては中央公民館の高齢者学級「福寿大学」があり、様々な分野の専門家を招いた講座を開いています。ぜひご利用ください。
⑮婚活支援	滑川市主催の婚活事業「滑川!オトナ部活」は、どのような内容になるのか。とにかく結婚につながるような工夫と、参加者が何度でもチャレンジできそうな雰囲気づくりを心掛けてほしい。	婚活事業の多くは一度きりのパーティーですが、本市の事業は同じメンバーが期間をかけて共同作業に取り組み、何回も集まって話し合う中で親睦を深めるものです。すぐに成果に結びつくとは限りませんが、改良しながら来年以降も継続的に取り組み、非婚・晩婚化の解消につなげます。ホームページやチラシ、新聞・雑誌の広告で参加を呼び掛けています。
⑯ホタルの飼育	家の近くでは以前、ホタルが数多く飛び交ったが、今はほとんど見かけなくなった。東加積小などで飼育しているようだが、市民も取り組める勉強やボランティアの機会はないだろうか。	東加積小や田中小では児童が地域のボランティアの協力を得て人工飼育や調査・研究に取り組んでいます。生涯学習課では小森地区のホタルを見学する親子ツアーを毎年実施しています。これらに一般の方が参加できる仕組みがつかれないか検討します。小森・本江などホタルが多い地区では除草剤や農薬の使用を抑えるなど、工夫されています。地域のご協力でホタルの飛び交うエリアを広げていきたいと思えます。
⑰ホールの控室	市民会館大ホールは控室が無く、出演者にとって使い勝手が悪い。市民交流プラザ3階多目的ホールも、せっかく舞台があるのに、舞台裏の部屋が物置になっている。控室にしてほしい。	市民会館大ホールについては控室を増築中です。市民交流プラザ3階の多目的ホールは、舞台の使用だけが目的ではないので、現状のままとさせていただきたいと思えます。
⑱健康寿命延伸	市では健康寿命延伸を図る施策を展開しているが、より一層活発にやってほしい。	高齢者が要介護認定の状態に陥らないよう、スポーツ・健康の森やいのみ公園では、体力づくり指導協会の協力で運動教室を開き、参加者の輪を広げています。また、市民交流プラザでは毎月、高齢者が楽しめるイベントを企画する「悠々サロン」を実施しています。ぜひご参加ください。

女性の皆様からの主な提言等と市側の回答要旨

提言等の項目	H27夏開催の「市長と語る会」	
	皆さまからいただいた主な提言等	その際の回答要旨
⑱児童館	今年度末、新しい児童館が完成するが、現在の児童館のように、遊具は設置されるのか。また、現在の児童館では毎年「児童館まつり」を行っているが、新しい児童館でも開催するのか。新しい児童館の造りも詳しく知りたい。	新しい児童館は2棟で構成する一部2階建の建物です。1棟は雨天でもバスケットボールやトランポリン、ドッジボールやバドミントンができる体育館。もう1棟は「遊びの館」で、茶道や将棋ができる畳の間、食育に使える調理室、パソコン室、図書室、ロフトなどを備え、子ども達がウキウキする施設を目指しています。山側はアウトドアゾーンで、野菜作りなどを行えます。「児童館まつり」は今後も開催します。今の児童館では子育てサークルがありますが、今後は育児サービスも行う方針です。